

「新年のご挨拶」

「2025年を振り返って」

群馬パース同窓会会長 荒木 海人

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆さまにおかれましては、
健康やかに新年を迎えられたことと存
じます。

2025年は、社会全体としても
大きな変化を感じる一年となりました。
春から始まった大阪・関西万博
では、世界各国の技術や文化に直接
触れることができ、来場された方も
多くの刺激や学びを得られたことと
思います。一方で、国内では米の価格
高騰をはじめとした物価の上昇、記
録的な猛暑、そして医療・介護分野
を中心とした働き手不足が引き続き
深刻な課題となりました。このよう
な環境の変化に直面するなかで、医
療や福祉に携わる同窓生の皆さまが
日々奮闘されていることに、改めて深
い敬意を抱いております。

さて、今年と同窓会としてもいくつ
かの大きな動きがありました。
まず、同窓生の数が4494名に
まで増えました。25周年を迎える
年には5000名以上の卒業生を輩
出することとなり、全国各地で活躍
の場を広げていることを実感し、大変
心強く感じております。

また、7月には役員会議を開催し、
今後の同窓会のあり方について活発な

議論を行いました。「より多くの同
窓生に集まっていたくにはどうすべ
きか」「同窓会として何が提供でき
るのか」を真摯に話し合い、全国で
活躍する同窓生を招いた講演会の開
催案など、新たな試みも検討いたし
ました。

さらに、2027年には、同窓会
が設立から25周年を迎えます。節
目の年を皆さまとともに盛大に祝い
たいという思いから、記念式典の開催
に向けて準備を始めていきたいと思
います。

2026年はまさにその準備の年
にあたり、役員・幹事一同、一歩ずつ
体制を整えてまいります。

社会情勢としては厳しさを感じる
側面も多かった1年ですが、同窓生
同士のつながりや母校との関係を見つ
め直すことで、新たな可能性が広が
る年でもありました。同窓会の活動
が発展になることは、ひいては母校の
発展にもつながります。2026年
も皆さまとともに、一歩ずつ前へ進ん
でいきたいと思っております。

結びに、本年が同窓生の皆さまに
とって、健やかで実り多い一年となり
ますよう心よりお祈り申し上げます。年
頭のご挨拶とさせていただきます。

2025年度

同窓会総会

2025年8月23日(土)、
大学5号館にて、現地とオン
ラインのハイブリッド形式で総
会を開催いたしました。

総会では昨年の事業報告、
決算、今年度の事業計画案、
予算案等について審議を行いま
した。総会後は名誉顧問の藤
田学長を招いて幹事の懇親会
を行いました。

今年度からコロナ前の集ま
りを取り戻すための一歩を踏み
出すために、対面でのイベント
を少しずつ増やしていこうと思
います。

今回、勤務などの事情によ
り参加できなかった同窓生の
皆様、来年の同窓会にはぜひ
ご参加ください。



Dum Spira Spero ~人には生命ある限り希望がある~

仮称「群馬パース同窓会 記念講堂」建設へ

学校法人 群馬パース大学 理事長 樋口 建介

1974年に描いた「ほたか健康村」は、51年の時を越え「未来のカタチ」であつたと改めて思っています。特養ホーム、群馬パース病院、有料老人ホーム、老人保健施設、ケアハウス、介護福祉士養成校、群馬パース看護短期大学、群馬パース大学、群馬パース大学大学院、大学附属研究所等を開設。

健康寿命の延伸を求めて、自然に恵まれた川場の地で静かに瞑想にふける時、人生最高の「ひと時」と感じられるような「パース農園・パース公園」造り。そこで支えるプロフェッショナルたちが、自分のために生きると同様に人のために生きる心を持ち育てる臨床教育を目指し、子どもから高齢者まで誰にとつても「癒し」の場「パース健康村」に衣替えし、更なる医療の質向上に挑戦しています。

高山・渋川・高崎・前橋各キャンパスを教育施設と捉え「臨床・教育・研究」の集大成が「アカデミックタウン100年構想」です。

前橋キャンパスは、保健栄養科学部開設と全学生が学べるキャンパスになり、校地内に仮称「群馬パース同窓会 記念講堂」と「シミュレーションセンタ」の建設工事が今冬に着手しました。

完成は、2028年新春の開校予定です。

高崎キャンパスは、大学院を中心とした産学連携の研究機関として充実させて参ります。

群馬パース同窓会員4494名の仲間たちとPAZ応援団15団体が前橋キャンパスで共に語らい共に喜びを分かち合いたいと願っています。

51年の歴史から学び、基本理念「Dum Spiro Spero」(人には生命ある限り希望がある)と「美しく・健やかに・元気で老いる…最高の人生」の精神を貫けば、100年、200年、300年後…永遠に栄えると確信しています。

2026年 新春

『選ばれる大学』…夢を抱ける大学』を目指して！

群馬パース大学 学長 藤田 清貴

群馬パース大学は、1998年の開学以来、質の高い多くの保健医療専門職の人材を輩出してきています。現在、看護学部(看護学科)、リハビリテーション学部(理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科)、医療技術学部(検査技術学科、放射線学科、臨床工学科)の3学部7学科からなり、養成職種数と養成人数(年間9職種約380名)の多さは群馬県内でもトップクラスとなっています。さらに、大学院を併設しており、博士前期課程(看護学領域、リハビリテーション学領域、病因・病態検査学領域、放射線学領域、臨床工学領域、公衆衛生学領域)では、特徴ある教育カリキュラムにより2年間の教育、研究を通して自身の適性に合致した進路を選択することができ、それぞれの領域の修士号を取得できます。また、博士後期課程では、「医療科学」に焦点をあて、病気の予防や健康増進のための科学的エビデンスを構築しながら、国際的に通用する研究者、教育者等の道を歩むこともでき、学生がワンランク上の医療人を目指すことを可能としています。また2028年には、前橋駅近くに新キャンパスが完成し新たな学部もスタートする予定です。

しかし、この先の社会環境の変化、人口減少を考えますと常に時代のニーズに即した変革が必要です。本学が持続的に発展するためには、教育・研究活動の両立を基盤とした医療系総合大学としての役割を果たし、学生が憧れるような『選ばれる大学』であるべきと考えます。2024年に学長就任後、大学として、①3本の柱の強化(国家試験合格率の向上・就職率の向上・入学者の確保)、②研究支援体制の強化、③海外研修プログラムの充実、④中途退学率の改善強化などの年度方針を具体的に明確化し、教職員「丸」となつて取り組んでいます。これからも『選ばれる大学』、そして『夢を抱ける大学』を目指し努力していきたく思っておりますので、どうか同窓会員のみなさんの温かいご支援、ご協力の程をよろしくお願い致します。

2026年 新春

Give Tomorrow

PAZへのご寄付



クラウドファンディング



詳しくは
こちら

●特定のプロジェクトへのご支援

教育研究、地域貢献および学生課外活動の更なる活性化を目的としたプロジェクトを実施する際に必要な資金を確保する手段の1つとして、『クラウドファンディング(寄付金控除型)』を活用しております。



群馬パース大学



READYFOR



一般寄付



詳しくは
こちら

●教育・研究等へのご支援

寄付金は主に次の事業に活用させていただきます。

教育活動

研究活動

奨学金

前橋キャンパスへの寄付

●前橋キャンパスへのご支援

「寄付金申し込みフォーム」より「その他」にチェック、「使途」に「前橋キャンパス」とご入力ください。

寄付の目的
(複数選択可能)

☐1.教育活動

☐2.研究活動

☐3.奨学金

☒4.その他、学科や教員などの指定
使途(前橋キャンパス)

寄付金申し込みフォーム入力画面

■税制上の優遇措置について

個人の場合

税額控除制度

寄付金の約40%(所得税額の25%が限度)が所得税額から税率に関係なく直接控除されるため、多くの方のご寄付について減税効果が大きくなっています。

所得控除制度

所得控除を行った後に税率を掛けるため、所得税率が高い高額所得者の方の減税効果が大きくなっています。

※住民税への税額控除も自治体によって指定される場合があります。

法人の場合

受配者指定
寄付金

寄付金の全額を
損金算入できます。

特定寄付金

特定公益増進法人
に対する寄付金

■ご寄付の方法について

クラウドファンディング

プロジェクト専用ページからお申し込みください。
プロジェクト成立後に発行する寄付受領書を添えて確定申告を行うことで税制上の優遇措置の対象となります。

一般寄付

大学HP専用フォームからお申し込みください。
お支払い方法は「銀行振込」の他に「クレジットカード・コンビニ・Pay-easy決済」から選択できます。
受配者指定寄付金の場合は専用のお手続きが必要となりますので下記お問い合わせ先にご連絡ください。



寄付金額10,000円以上の方には、「葉っぱ」をモチーフにした記念プレートに寄付者氏名をお入れし、校舎内に残します。

Name



短大三期同窓会

群馬パース看護短期大学 2002年度卒
トロシエセック亜樹(旧姓 田中)

2024年の秋、18年を過ごしたカナダのバンクーバーから日本へ帰国しました。国際看護師として駆け抜けた日々、別れを告げ、日本で再び働き始めています。良くも悪くも、日本の「洗礼」を受けている、そんな心境の最中に迎えた同窓会でした。

久しぶりに会ったのは、あの高山村で寝食を共にした仲間たち。誰もが大人になり、それぞれの人生を歩んでいるはずなのに、不思議なほどにあの頃のままでした。そこに流れる空気は、当時と寸分違わぬ居心地の良さ。まるでクラスルームにタイムスリップしたかのよう、みんなが自分らしく(ときに自分勝手に!)参加していました。

今年5月、同窓会の企画は始まりました。何人かの同級生に声をかけ、仲間と連絡を取り合う日々。正直なところ、当日まであれこれとバタバタしておりましたが、蓋を開けてみれば17名もの仲間が集まってくれました。開催後のアンケートでは、同窓会の内容に



「満足」という声がほとんどで、ホッと胸をなで下ろしました。

あの頃の淡い恋バナ。仲間だからこそ話せる、仕事でのちょっとしたエピソード。お世話になった先生方の懐かしいお話。思い出話に花が咲き乱れました。そして、会えなかつた間にそれぞれの身に起こった「成長」や「経歴」、積み重ねてきた「歴史」を知ることができたのは、私だけではなく、きつと参加者みんなにとっても、もつと頑張ろうと前向きな気持ちになれる、かけがえのない時間だったのではないのでしょうか。

同窓会後のアンケートでは、「次の同窓会は3~5年のうちに」と答えた人が最も多く、このつながりを皆が大切に思っていることが伝わってきました。次回は、当時の先生方もお招きして、群馬の温泉でゆつくりと過ごすのいいのでは、という声も上がっています。私としては、学年の枠を超えて、パース卒業生の輪をさらに広げていきたいと密かに願っています。素敵な時間をありがとうございました。



メディカルサフランからのお知らせ

メディカルサフランでは群馬パース同窓会の運営をサポートさせていただいております。これまで以上に情報を発信し、同窓生の皆様に喜んで頂けるような企画などを考え、同窓会の発展に貢献してまいります。同窓生の皆様どうぞ宜しくお願い致します。

無料就職相談・キャリアサポート
Ms Medical+Safran
メディカルサフラン

卒業生すべての皆さまの
再就職・転職をご支援いたします。
まずは、お気軽にご相談ください。



0120-17-3260
10:00-18:00

高崎市問屋町1-5-2群馬パース大学5号館1F
info@medical-safran.com

友だち追加

メディカルサフラン

検索



同窓会事務局からのお知らせ

同窓会事務局では、

1. 会員の住所管理
2. 同窓会報の作成・発行
3. 同窓会ホームページの管理
4. 総会、懇親会の運営
等の業務を行っています。

これらの業務に関連して、次の方は事務局にご連絡ください。

1. 住所・氏名・職場に変更があった方
2. 同窓会報に寄稿したい方
3. 支部会を組織したい方

連絡窓口

〒370-0006 高崎市問屋町1-5-2
群馬パース大学5号館1F

メディカル サフラン

TEL.027-381-6002 FAX.027-388-0909
E-mail:alumni@paz.ac.jp